

2026 年 9 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社トヨコー
代表者名 代表取締役 CEO 豊澤 一晃
(コード：341A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 白井 元
(TEL. 0545-53-1045)

浜松市長による CoolLaser 開発・製造拠点見学のお知らせ

老朽化した橋梁・工場等のインフラメンテナンス技術を開発する株式会社トヨコー（本社：静岡県富士市、以下当社）は、静岡県浜松市にある「CoolLaser®（クーレーザー®）」の開発・製造拠点を、中野祐介 浜松市長に見学頂き、実際に CoolLaser の照射も体験頂きました。

また、本見学会には衆議院議員選挙区の静岡県第 8 区（浜松市中央区の一部）選出の稲葉大輔衆議院議員や、CoolLaser の開発・製造拠点が位置する、静岡県第 7 区（浜松市浜名区ほか）選出の、城内実事務所の公設秘書にも見学を頂きました。

■ 本見学会開催の背景

静岡県浜松市は、政令指定都市として全国最大の面積を有し、その管理橋梁数は全国第 2 位となります^注。浜松市で橋梁の設計寿命とされる建設後 50 年を経過する橋梁の割合は、2023 年の約 45%から、10 年後（2033 年）には約 70%、20 年後（2043 年）には約 90%に増加するとされ^注、橋梁のライフサイクルコストが最もかかる「架け替え」をなるべく避けるために、橋梁の塗替工事等の予防保全に取り組む事の重要性が掲げられています。

この様な状況のなか、世界最高峰 5.4kW の高出力レーザーを用いて、橋梁のサビ除去の過程で、腐食因子となる塩分まで蒸発除去する事が可能となる CoolLaser は、環境負荷や作業員の負荷軽減も同時に可能とする新たな予防保全技術として注目されています。橋梁の数が多く、光産業が盛んである浜松発の CoolLaser は、まさに浜松市の市政課題を解決する技術であり、今回の見学会開催に至っています。

注：出所＝浜松市土木部「浜松市道路施設管理基本方針（令和 6 年 3 月）」

■ 骨太の方針 2026 における CoolLaser

予防保全は、国土強靱化の観点で重要である事に加え、造船分野や防衛装備品のメンテナンスにおいても、世界最高峰の高出力レーザーにより瞬時に処理が可能である CoolLaser は、各分野が抱えるメンテナンス課題解決の糸口となる事が期待されており、「経済財政運営と改革の基本方針 2026（骨太の方針 2026）」に掲げる、我が国の政策方針にも合致した技術であると言えます。

CoolLaser は、初めて独立した研究所を構えた 2014 年より一貫して、静岡県第 7 区内に開発・製造拠点を構えており、この間現在まで連続当選している城内実衆議院議員は、我が国の危機管理投資、成長投資、国内投資の歴史的転換とされる、「骨太の方針 2026」を取りまとめた経済財政担当大臣でもあります。

これからも CoolLaser は、浜松や日本、そして世界の社会課題を解決し、経済成長に貢献して参ります。

■ 本件に関するお問合せ先（株式会社トヨコー 広報 IR 担当）

E-Mail: pr@toyokoh.com TEL: 0545-53-1045

以 上